

事務局:〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-17-1 虎ノ門5森ビル(視聴覚ビル)2階  
電話/FAX:03-5251-2133 e-mail:jet-office@japet.or.jp  
日本教育工学会ホームページ <http://www.japet.or.jp/jet/>

ISSN 1340-9913

## 第20回通常総会とシンポジウム開催のお知らせ(第2報)

第20回通常総会とシンポジウムを以下のように開催いたします。あらかじめご予定ください。

### 記

#### 1. 日時 2004年6月19日(土)

10:00~12:00 シンポジウム1(詳細はp.2をご覧ください)

12:00~13:00 総会

総会終了後 理事・評議員会

14:00~16:00 シンポジウム2(詳細はp.2をご覧ください)

#### 2. 会場 東京工業大学 西9号館デジタル多目的ホール

東京都目黒区大岡山2-12-1

(東急目黒線・大井町線 大岡山駅下車 徒歩1分)

#### 3. 総会の議事

1) 第1号議案 2003年度(2003.4.1-2004.3.31)事業報告および収支決算承認の件

2) 第2号議案 2004年度(2004.4.1-2005.3.31)事業計画案および収支予算案承認の件

なお、第20回全国大会は9月23日(木/祝)~25日(土)の3日間、東京工業大学で開催します。

### 本号目次

第20回通常総会とシンポジウム開催のお知らせ (第2報)-----	1	研究会の開催案内・発表募集・報告-----	4
6月シンポジウムの開催について(第2報)-----	2	第10期第7回理事会議事録-----	7
第20回全国大会のお知らせ-----	3	新入会員/学会日誌等-----	8

## 6月シンポジウムの開催について(第2報)

日本教育工学会 2004 年度 6 月のシンポジウムを、以下のように、学会総会の前後に行います。今年度は、本学会創立 20 周年を迎えます。シンポジウムも、それにふさわしい内容となるように企画致しました。

午前中は主として学会員を対象として、「日本教育工学会発展の 20 年を振り返る - 世代間対話 - 」と題して、創立 20 年を振り返り、日本における教育工学の世界を切り開き、学会の立ち上げに尽力なされた第 1 世代、その先生方の指導を受けて、教育工学を充実・発展させて来られた第 2 世代、さらにその方々の指導を受けて教育工学の次代を担おうとしておられる第 3 世代の 3 つの世代の代表に、それぞれのお立場から講演をお願い致します。

また、午後は、一般の方々の参加を得て、公開シンポジウムとして開催しますが、学力低下などが問題視される中で、これまで教育工学の果たしてきた役割を振り返り、今後の課題を展望するために、「教育工学は授業改善にどう貢献してきたのか？」と題して討論を行います。ここでは、教育工学のいくつかの研究領域を代表する中心的な研究者の方々にご登壇頂き、それぞれのお立場から講演して頂きます。

詳細は以下の通りです。

日時：2004 年 6 月 19 日(土) 10:00~16:00

会場：東京工業大学西 9 号館デジタル多目的ホール(大岡山)(東京都目黒区大岡山 2-12-1)  
東急目黒線・大井町線大岡山駅下車徒歩 1 分

午前の部：10:00~12:00 シンポジウム 1 (教育工学会員向け)

### テーマ「日本教育工学会発展の 20 年を振り返る - 世代間対話 - 」

ねらい：

今日のような教育工学会の発展の背景には、学会創設以前から教育工学の世界を切り開き、学会創設に尽力なされた第 1 世代や、その方々の研究指導を受けて、教育工学を充実・発展させて来られた第 2 世代というべき方々のご努力があります。しかし発足後 20 年を経て、学会創設の経緯やその発展の歴史を知らない会員の方が多くなる傾向があり、そういった経験も必ずしも継承されていません。そこで本シンポジウムでは、教育工学の確立、普及、発展のための、またその社会的、組織内(大学内)的認知と評価を得るための努力、方略、秘話などを語りあって頂き、学会発展のための経験を継承する機会としたいと考えます。また若い世代からは、教育工学や教育工学会に感じる魅力や期待、また将来の夢などについても発言をお願いしたいと考えています。

登壇者：(敬称略)

- ・第 1 世代を代表して 坂元 昂(前メディア教育開発センター所長)
- ・第 2 世代を代表して 永野和男(聖心女子大学教授)
- ・第 3 世代を代表して 香山瑞恵(専修大学助教授)

司 会：

大谷 尚(名古屋大学教授・企画委員会委員長)

午後の部：14:00~16:00 シンポジウム 2 (会員及び一般参加者向け)

### テーマ「教育工学は授業改善にどう貢献してきたのか？」

ねらい：

教育工学は、教育の多様な側面に貢献してきたといえますが、その中心は学校教育であり、なかでも授業であったことは多くが認めるところであると考えられます。しかし学会発足から 20 年、教育工学が授業改善にこれまでどう貢献してきたのかを幅広く振り返る機会ほとんどありませんでした。そこで本シンポジウムでは、4 つの視点からこれを振り返り、評価したいと考えます。これにより、過去をレビューするだけでなく、学力低下が叫ばれている今日ならびに将来の、教育工学の課題を探ることができればと考えます。

登壇者：(敬称略)

- ・基礎研究の立場から 永岡慶三(早稲田大学教授)
- ・教育システム開発の立場から 岡本敏雄(電気通信大学教授)
- ・授業研究の立場から 吉崎静夫(日本女子大学教授)
- ・学習支援の立場から 赤堀侃司(東京工業大学教授)

司 会：

南部昌敏(上越教育大学教授・企画委員会副委員長)

## 日本教育工学会 第20回全国大会(20周年記念大会)のお知らせ

日本教育工学会第20回全国大会(20周年記念大会)を下記のように東京工業大学において開催します。多くの方々のご参加をお待ちしています。また研究発表(課題, 一般, English Session)につきましても, 奮ってご応募ください。なおそれらの申し込み手続きの詳細や原稿の書式等については, 次号ニューズレターの第2報でお知らせいたします。

### 1. 開催期日・会場

期日: 2004年9月23日(木)~25日(土)(3日間)

会場: 東京工業大学(大岡山キャンパス)

〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1(東急目黒線・大井町線 大岡山駅前)

<http://www.titech.ac.jp/>

### 2. 大会日程

第1日 9月23日(木)	第2日 9月24日(金)	第3日 9月25日(土)
9:30~10:00 受付	9:00~9:30 受付	9:00~9:30 受付
10:00~12:00 一般研究発表1	9:30~12:00 一般研究発表2	9:30~12:00 一般研究発表3
12:00~13:30 昼食・展示見学	12:00~13:30 昼食・理事会・ 展示見学	12:00~13:00 昼食・ 大会企画委員会
13:30~15:30 シンポジウム	13:30~14:00 全体会	13:00~15:30 一般研究発表4
15:40~18:10 課題研究発表1	14:00~18:00 20周年記念企画 (基調講演, 特別講演, パネルデ ィスカッション)	15:40~18:10 課題研究発表2
	18:00~18:10 移動	
	18:10~20:30 懇親会	

### 3. 20周年記念企画「教員のICT活用指導力の目標と研修のあり方」(第2日)の概要

まず基調講演では, 遠山敦子前文部科学大臣より基調講演を頂戴します。続いて, ISTE(International Society for Technology in Education)理事による特別講演を催します(逐次通訳付)。さらにそれらを踏まえて, 学会会員によるパネルディスカッションを展開します。

### 4. 大会までのスケジュール

6月25日(金) 課題研究発表申込書・プロポーザル(2ページ)提出締切(必着)

7月9日(金) 課題研究採否決定通知

7月30日(金) 課題研究発表原稿(4ページ)提出締切(必着)

一般研究発表/English Session 申込書・原稿(2ページ)提出締切(必着)

8月27日(金) 参加費事前送金期限(それ以降は送金しない)

なお, 原稿の提出ですが, JSET ホームページ内の大会関係部分から, 7月30日(金)までに, 最終原稿のファイルを送信していただく予定です。詳しい手続きについては, 第2報でお伝えします。なお, 郵送または宅配便にて原稿を送付する場合には, オリジナルとコピー1部, ならびに大会原稿提出票(次号に掲載予定)に記入したものを7月30日(金)必着で下記の宛先までお送りください。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-17-1 虎ノ門5森ビル2F 日本教育工学会事務局 宛



## 研究会の開催

## テーマ 総合的な学習の時間と評価

(教育測定・評価の理論・方法論も含む)

日時：2004年5月22日(土)

会場：兵庫教育大学 大学院神戸サテライト 4階404教室

開催担当：森広浩一郎(兵庫教育大学 学校教育学部)

研究会は当日受付にて同研究会の報告集(1,000円)をご購入いただければ、一般の方でも参加可能です。

## プログラム：

発表時間：発表1件につき25分(発表20分程度，質疑5分程度)の持ち時間です。

午前の部(9:20~12:00)

- (1) 高校数学での学習指導例によるGETA利用の検討  
筱更治(奈良県立平城高等学校)，成田滋(兵庫教育大学学校教育研究センター)
- (2) デジタルコンテンツを活用した授業設計に関する一検討  
片山淳一(山陽町立山陽北小学校)，佐々木弘記(岡山県教育センター)
- (3) VOD型e-Learningシステムにおける継時的学習状態データベースの構築(1)  
- データベースの内容と収集方法の検討 -  
赤倉貴子(東京理科大学工学部)
- (4) 早稲田大学eスクールの実践：大学教育におけるeラーニングの展望  
向後千春・西村昭治・浅田匡・菊池英明・金群・野嶋栄一郎(早稲田大学人間科学部)
- (5) 小学生を対象とした日本語キーボード入力検定システムの開発と学習履歴の分析  
堀田龍也(静岡大学情報学部)，高橋純(富山大学教育学部)，石原一彦(津市立瀬田小学校)，中川斉史(鳴門教育大学大学院)，増沢節子・武藤浩子・横幕睦(スズキ教育ソフト(株))
- (6) 社会的に高い評価を受けている学校Webページに関する調査  
石塚丈晴(静岡大学工学部)，森下誠太(静岡大学大学院情報学研究科)，堀田龍也(静岡大学情報学部)

----- お昼休み(12:00~13:00) -----

午後の部(13:00~17:00)

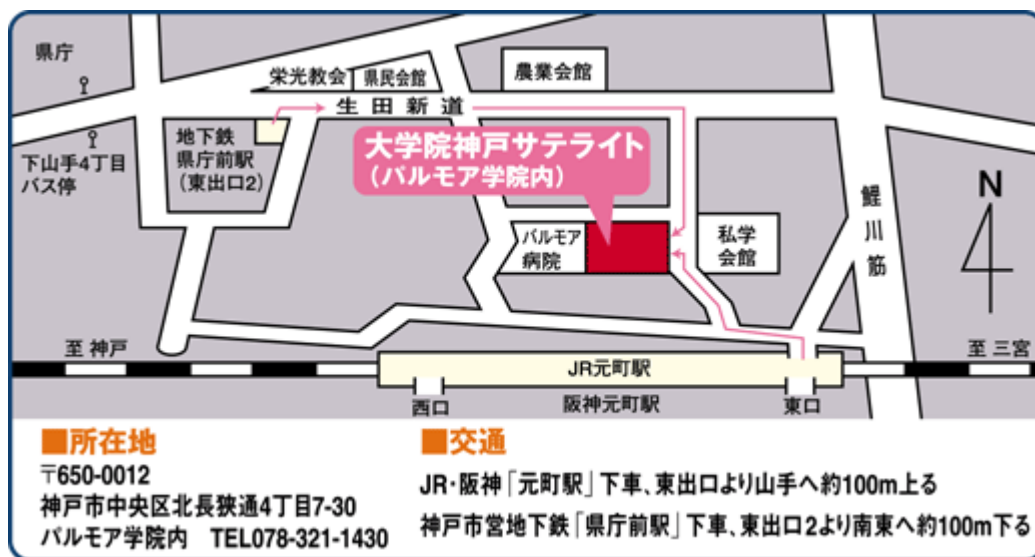
- (7) 離島の教育と大学教育を相互に支援する交流システムに関する研究(1)  
園屋高志・関山徹(鹿児島大学教育学部)
- (8) 高等学校「課題研究」のテーマ設定法  
池田晃敏(兵庫県立龍野実業高等学校)
- (9) 評価の客観性を高める評価事例集とモデレーションプログラム  
佐々木弘記(岡山県教育センター)，土屋新太郎(寄島町立寄島中学校)，福岡明広(岡山県立岡山東商業高等学校)
- (10) 大学教員の授業観等の意識調査結果とファカルティ・ディベロップメントのあり方の考察  
三尾忠男(早稲田大学)
- (11) 総合的な学習の時間の実践と評価について - 2つの中学校の実践を通して -  
高木浩志(宝塚市立高司中学校)，田中博之(大阪教育大学)
- (12) 総合的な学習の時間における児童の評価活動を支援する教師の取り組み  
廣瀬真琴(大阪市立大学大学院文学研究科)
- (13) 分散Webポートフォリオシステムにおける相互作用支援機能としての媒介物のあり方について  
岡田雅樹・正司和彦(兵庫教育大学)
- (14) タグ付きWeb-DB動的リンク学習環境の開発について  
長瀬久明・岡田雅樹・森広浩一郎・正司和彦(兵庫教育大学)
- (15) 総合的な学習の評価システムモデルの開発  
村川雅弘(鳴門教育大学)，三河秀喜(徳島県勝浦郡上勝小学校)

閉会の挨拶 17:00 研究会委員長

会場：兵庫教育大学 大学院神戸サテライト 〒650-0012 兵庫県神戸市中央区北長狭通4-7-30 パルモア学院内

・周辺地図：<http://www.office.hyogo-u.ac.jp/ent/nyuusi/graduate/satellite.html>

・アクセス方法：JR神戸線または阪神電車の「元町駅」で下車し、東出口より山手へ約100m上る。または、神戸市営地下鉄西神・山手線の「県庁前駅」で下車し、東出口2より南東へ約100m下る。パルモア学院専門学校の建物に入り、エレベータで4階へお上がり下さい。



(上記URLに同じ地図があります)

連絡先：(森広浩一郎) TEL, FAX: 0795-44-2294, 電子メール: mori@info.hyogo-u.ac.jp

## 研究会の発表募集



### 情報教育のカリキュラムと評価

日時：2004年7月10日(土)

会場：富山大学教育学部附属教育実践総合センター (富山市)

開催担当：小川亮 (富山大学教育学部附属教育実践総合センター)

申込締切：2004年5月27日(木)

原稿提出：2004年6月10日(木) PDF形式で電子的に提出もできます。

#### 募集内容：

平成14年6月に「情報教育の実践と学校の情報化～新「情報教育に関する手引」～」が示され、体系的な情報教育の実施が求められています。また国の行動計画の中でも、情報化に対応した教育の環境・体制作りが取り上げられています。これに対して、情報教育に対する先進的な取り組みが、さまざまな地域や学校で行われ、その成果については多くの報告がなされています。しかし他方で、情報教育を推進する教員が半ば固定化するなど、今後の展開における問題点も明らかになってきました。

今回の研究会では、このような現状を改善する視点から、情報教育のカリキュラム開発研究、教員の資質向上を旨とした研修プログラムの開発、情報教育の効果の評価研究など、情報教育に関する研究発表を幅広く募集します。また教育工学一般に関する発表もお待ちしています。

#### 応募方法：

研究会Web Pageの「発表申し込みフォーム」よりお申し込みください。なお、当該研究会の「発表申込状況」で申し込まれた方の氏名が確認できます。

**申し込み締切：2004年5月27日(木)です。**締切後、申し込まれた宛先に折り返し発表の採択結果を電子メールにて連絡いたします。また、採択された方には執筆要項を電子メールにて送付いたします。

**原稿提出期限：2004年6月10日(木)必着(厳守!)**をお願いいたします。執筆要項に記載された宛先にお送りください。なお、PDF形式(サイズは1Mバイト未満)での原稿の電子的な提出を受け付けます。提出先は、学会本部事務局(jet-submit@nime.ac.jp)です。電子メールに添付して送ってください。

## 研究会の報告

3月20日(土)に「教師の資質開発(教育方法, 運営能力, 責任)」をテーマとして研究会が岐阜大学教育学部(岐阜市)を会場に開催された。年度末でありながら約60名の参加者を迎え, A会場13件, B会場14件の計27件の発表が行われ, 大変盛会であった。

A会場では主に, 教員の資質開発に関わって, 教員研修システムのあり方, 研修教材開発, 研修プログラム開発, 教師活動支援システムなどの研究発表が行われた。特に15年度より悉皆研修となった教職10年経験者研修に対する大学の積極的な関与についての報告(石川と村瀬の2件)には, 今後の教員養成系大学学部の地域貢献のあり方の一例として注目を集めた。

B会場では主に, 教科指導や総合的な学習の時間, 情報教育における授業改善を目指した教材開発や授業開発及びそれらの効果についての研究発表が行われた。特に現職教員である大学院生の修士論文にもとづく研究発表も数多くあり, 教師の資質開発という本会テーマと, 大学院における教員研修による資質開発の実践が合致した研究会であった。



3月研究会開催担当: 村瀬康一郎(岐阜大学総合情報メディアセンター)

## 研究報告集年間購読のお勧め



研究会の報告集は, 会員・非会員に関係なく年間予約により購読できます。予約価格は年6冊, 各研究会平均15件の研究発表で, 年間合計500ページほどになります。価格は郵送料込みで3,500円です(当日売りは割高になります)。詳しくは, 学会本部事務局までお問い合わせください。

【学会本部事務局】〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-17-1 虎ノ門5森ビル(視聴覚ビル)2階  
TEL/FAX: 03-5251-2133 E-mail: jet-office@japet.or.jp

## 研究会の今後の予定

2004年度の研究会の開催予定が決まりました(は依頼中または検討中です)。本年度は, 全国大会が開催される9月には研究会を開催せず, 発表件数の多くなる年度末, 2月に研究会を開催する予定です。

11月20日(土)	教育の情報化 ~ デジタルコンテンツを活用した授業実践と評価	東北学院大
2005年1月	国際交流と教育工学	長崎大学( )
2005年2月	確かな学力と授業実践	関東地方( )
2005年3月	学校改善・授業改善と教師教育	鳴門教育大学( )
2005年5月	多様な遠隔教育の実践と評価	北海道教育大学( )

## 研究会委員会からのお知らせ

研究会に関するご意見・ご希望・魅力的な研究会テーマの提案・研究会での企画などお気軽に研究会幹事, 委員までご連絡ください。連絡先は次の通りです。

(研究会全般, 研究会Web Page, 研究会発表の申込, 変更等, 原稿執筆)に関するお問い合わせ

(年間購読, 原稿提出)に関するお問い合わせ

研究会幹事 jet-branch@nime.ac.jp  
学会本部事務局 jet-office@japet.or.jp

## 日本教育工学会第10期第7回理事会議事録

日 時：平成16年3月27日(土) 15:00～17:00

場 所：社団法人日本教育工学振興会(JAPET)

出 席：清水康敬会長、近藤 勲副会長、山西潤一副会長、大谷 尚、木原俊行、向後千春、  
坂元 昂、正司和彦、鈴木克明、園屋高志、永岡慶三、中山 実、南部昌敏、  
堀田龍也、前迫孝憲、横山節雄、小林常一事務局次長

1. 第10期第6回理事会議事録の承認 資料1のとおり承認した。

2. 会員の移動について

資料2のとおり、新入会員35名、退会会員12名、種別変更2名を承認した。

3. 各種委員会報告について

(1) 編集委員会

中山理事から資料3などにより報告が行われ、承認した。

開発中の管理システムの確認と4月1日から編集事務局の虎ノ門への移転を承認した。

(2) 企画委員会

大谷理事から資料4およびニュースレターにより報告が行われ、承認した。

(3) 研究会委員会 正司理事から資料5により報告が行われ、承認した。

(4) 大会企画委員会 園屋理事から報告が行われ、承認した。

(5) 学会ホームページ

清水会長から(池田理事の代理)報告が行われ、サーバ依頼先とも合わせて承認した。

(6) 渉外 横山理事からニュースレターNo.127(P.13)をもとに報告が行われた。

(7) 20周年記念事業

清水会長から報告が行われ、承認した。

1) 学会会員データベース・論文誌査読システム(資料6)、2) 大会発表申込(オンライン)の開発を開始、3) 論文誌デザインを変更、4) 過去20年間のニュースレター、論文誌、大会誌からのデータ入力を終了、5) 20周年記念大会基調講演、特別講演の企画について。

(8) ニュースレター委員会

堀田理事から資料7などにより報告が行われ、承認した。

総会(6月)前(5月締切)と20周年記念大会(9月)前にも発行。

4. 研究委託について 清水会長から資料8により説明があり、対応方針を検討した。

5. その他 清水会長から説明があり、以下を承認した。

1) 協賛・後援名義使用の承諾について、5件を承認した。

2) ニュースレターおよびホームページへの紹介記事掲載についての原則を検討した。

今後の理事会の日程について

第10期第8回理事会：平成16年5月15日(土) 15:00～17:00

第10期第9回理事・評議員会(合同)：平成16年6月19日(土)

新入会員

(2004年1月11日~2004年3月27日)

■ 正 会 員 21名

青木 久美子  
(メディア教育開発センター)  
上木 佐季子(富山大学)  
牛瀧 文宏(京都産業大学)  
梅村 信夫(愛知女子短期大学)  
小野 浩司  
(福島県泉崎村立泉崎第一小学校)  
片岡 弓人(千曲市立埴生小学校)  
加藤 和幸(金城学院高等学校)  
川上 紳一(岐阜大学)  
小松 香爾(文京学院大学)  
坂口 尚子(岐阜県立大垣桜高等学校)  
鈴木 賢男(文教大学)  
鈴木 雄清(志學館大学)

林 一夫(メディア教育開発センター)  
平田 洋子(北海学園大学)  
星名 由美(日本女子大学)  
真山 茂樹(東京学芸大学)  
三津川 恭一  
(有限会社 MMS MicroMediaSystem)  
山本 恵(愛知女子短期大学)  
米川 覚(高岡短期大学)  
若嶋 清人(湊川短期大学)  
涌井 佐和子(北海道教育大学)

■ 准 会 員 3名

大山 広行(富士通株式会社)  
寺嶋 芳延(富士通株式会社)  
吉田 豪  
(山住電機株式会社・ビットゼミ)

■ 学 生 会 員 11名

秋山 美知子(放送大学大学院)  
稲葉 亜希恵(宇都宮大学)  
近江 玲(お茶の水女子大学大学院)  
小山 史己(三重大学)  
多喜 賢一郎(東京工科大学大学院)  
田島 祥(お茶の水女子大学)  
田中 充(創価大学)  
堤 教彰(神戸商船大学)  
松尾 徳朗(名古屋工業大学大学院)  
村上 浩一(佛教大学大学院)  
森田 正康(東京大学)

学会日誌

5月15日(土)理事会・編集委員会(JAPET)

5月22日(土)研究会「総合的な学習の時間と評価(教育測定・評価の理論・方法論も含む)」  
(兵庫教育大学大学院神戸サテライト)

6月19日(土)総会・シンポジウム(東京工業大学)

7月17日(土)理事会・編集委員会(JAPET)

9月23日(木祝)~25日(土)第20回全国大会(東京工業大学)

お問い合わせ先(Eメールアドレス)

論文投稿に関するお問い合わせ.....編集委員会(jet-editor@japet.or.jp)

研究会の開催についてのお問い合わせ.....研究会事務局(jet-branch@nime.ac.jp)

ニューズレター編集に関するお問い合わせ.....ニューズレター編集委員会

(jet-news@japet.jp)

その他の掲載記事に関するお問い合わせ.....学会事務局(jet-office@japet.or.jp)

ニューズレター編集委員会

編集長:坂元 昂,編集委員長:堀田龍也,委員:小柳和喜雄,石塚丈晴  
静岡大学情報学部堀田研究室 FAX: 053 - 412 - 6558 E-mail: jet-news@japet.jp

日本教育工学会ニューズレター No.128

2004年 5月12日 発行人 清水 康敬

発行所 日本教育工学会事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-17-1虎ノ門5森ビル(視聴覚ビル) 2階

TEL / FAX: 03 - 5251 - 2133 E-mail: jet-office@japet.or.jp

http://www.japet.or.jp/jet/ 郵便振替 00180 - 0-111042